

授業科目名	保育内容表現 I	担当教員名	河野 佑美
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	2年 通年(年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位(60時間)
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1/2)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※「保育内容演習」の指導内容を含む
授業の到達目標	<p>年齢に応じた幼児の音楽表現とその活動についての考え方を理解し、実践的な体験を通して感じる心を養い、音楽表現活動の指導法を学ぶ。/器楽合奏を通して簡易楽器の理解・演奏技術を習得する。</p> <p>1-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容:幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容を並びに全体構造を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想:幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>(2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</p> <p>(3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えたとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</p> <p>(4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の実際について理解する。</p>		
授業の概要	幼児の表現をいかに導き、受け止められる保育士になるために、保育者自身の音楽表現力を養う。楽器の正しい演奏法、効果的な指導法を身に付ける。		
テキスト	『アクティブラーニングを取り入れた子どもの発達と音楽表現—幼稚園教諭・保育士養成課程』櫻井琴音、上谷裕子著【学文社】、自主プリント		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、新・保育内容シリーズ 音楽表現 三森桂子著		
成績評価の方法	内容の知識理解:定期試験(実技試験)60% 学習への興味関心:学習への参加意欲、提出物 20%、活用する技術:表現、発表 20%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	幼児教育における5領域「表現」の内容とねらい、小学校の関連・教科等とのつながりを理解する 世界の幼児教育 オルフの幼児教育①オルフ楽器を用いた即興音楽遊び	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①	
第2回	音楽表現を知ろう①ビートを中心とした音楽活動 世界の幼児教育 オルフの幼児教育②身体、声を使った即興リズム遊び—遊びの作成—	(1)-②,(2)-①,(2)-②	
第3回	音楽表現を知ろう②発達に合わせた手遊び 6ヶ月未満児～2歳児 世界の幼児教育 オルフの幼児教育③身体、声を使った即興リズム遊び—母国の言葉とリズムを融合した遊びの作成—	(1)-②,(2)-①,(2)-②	
第4回	音楽表現を知ろう③発達に合わせた手遊び 3歳～6歳児 世界の幼児教育 オルフの幼児教育④グループ発表 簡易楽器の種類と構造 鍵盤ハーモニカの正しい演奏方法の理解と習得	(1)-②,(2)-①,(2)-②, (2)-③,(2)-④	
第5回	音楽表現の種類を知ろう④聴く活動 意義・ねらいと援助、歌詞を聴くワークショップ 簡易楽器の種類と構造 木琴と鉄琴の正しい演奏方法と習得	(2)-①	
第6回	音楽表現について知ろう⑤聴く活動 実践 サウンドスケープワークショップ、サウンドバスケットワークショップ 楽器を使った表現活動 楽器の役割 リズム楽器と旋律楽器 小太鼓の楽譜と奏法の理解	(2)-①	
第7回	音楽表現について知ろう⑥歌う活動 歌う意義・ねらい 簡易楽器の種類と構造 木琴と鉄琴の復習、小太鼓	(2)-①,(2)-②	
第8回	音楽表現について知ろう⑦歌う活動 援助の方法、歌遊びの実践(曲決め) 簡易楽器のアンサンブル グループ決め・パート決め	(1)-②,(2)-①,(2)-②	
第9回	音楽表現を知ろう⑧歌う活動 遊びの実践(表現活動の組み立てを考える、指導案の作成) 簡易楽器のアンサンブル 練習	(2)-③	
第10回	音楽表現を知ろう⑨歌う活動 遊びの実践(実践) 簡易楽器のアンサンブル 練習 お互いに聴き合い息を合わせる	(2)-③,(2)-④	
第11回	音楽表現を知ろう⑩歌う活動 振り返り 簡易楽器のアンサンブル 練習 バランスを考える 模擬保育(器楽演奏『山の音楽家』を用いて)—展開を考える。楽器ごとの演奏方法、音色の違いの説明を考える。導入から展開の流れを考える。	(2)-③,(2)-④,(2)-⑤	
第12回	簡易楽器のアンサンブル ICTを活用しての練習 前期試験曲の提示(幼児歌曲、鍵盤ハーモニカパート) 模擬保育(器楽演奏『山の音楽家』を用いて)—導入からの展開を練習し、援助について考える	(1)-②,(2)-①,(2)-②	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	簡易楽器のアンサンブル 発表 前期試験曲の練習 譜読み、ダイナミクスの確認 模擬保育（器楽演奏『山の音楽家』を用いて）－ 視覚的教材の作成	(2)-③,(2)-④,(2)-⑤
第14回	前期試験曲の練習 暗譜 実技試験課題の練習 正しい奏法、リズムの確認 模擬保育（器楽演奏『山の音楽家』を用いて）－ ICTを用いての練習	(2)-②
第15回	前期のまとめ、模擬保育の発表	(1)-④,(2)-④,(2)-⑤
定期試験	実技試験	
第16回	器楽合奏－簡単な童謡曲やマーチを題材に－ パート決め、パート練習 全体を通して各楽器の役割を考える 楽しく演奏するためにはどのような声掛けが必要か	(1)-②,(2)-①
第17回	器楽合奏－簡単な童謡曲やマーチを題材に－ パート練習で演奏技術を高める 発想記号の確認 全体を通して旋律と伴奏のバランスを考える	(1)-②,(2)-①
第18回	器楽合奏－簡単な童謡曲やマーチを題材に－ 仕上げ 幼児の認識・思考、動きを視野に入れ楽しく演奏するために必要な指導方法のまとめ	(1)-②,(2)-①
第19回	器楽合奏－複雑なリズムの作品に取り組み－ 付点リズムやサンバのリズムに慣れる パート決め、パート練習でリズム確認 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 意義とねらい	(1)-①
第20回	器楽合奏－複雑なリズムの作品に取り組み－ パート練習で各楽器のリズムを揃える。全体を通し、リズムの正確さを徹底する 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 基本的な動き、振り付け歌を知る	(1)-①
第21回	器楽合奏－複雑なリズムの作品に取り組み－ 仕上げ 複雑なリズムを幼児に分かり易く指導する方法を探る 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 振り付け歌の作成	(1)-②,(2)-①
第22回	器楽合奏－校歌、生活発表会で演奏されている曲を中心に－ パート決め、楽譜配布 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 振り付け歌の完成	(1)-②,(2)-①
第23回	器楽合奏－校歌、生活発表会で演奏されている曲を中心に－ パート練習でリズム確認。全体を通して流れを把握する 発想記号の確認と表現 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 振り付け歌の練習 ICTを活用して	(2)-②
第24回	器楽合奏－校歌、生活発表会で演奏されている曲を中心に－ 仕上げ 聴衆により感動を与えるために必要な表現方法、舞台の使い方を探る。ダイナミクスを意識する 音楽表現を知ろう⑥体の動きを取り入れる活動 振り付け歌の発表と振り返り	(2)-④,(2)-5
第25回	グループ課題 童謡の合奏編曲－グループ決め、選曲。 情報機器・教材の活用法を知る－パソコンでの譜面作成と視聴の体験。	(2)-②
第26回	グループ課題 童謡の合奏編曲－前奏の作成、イメージを全員そろえる 楽器ごとの譜面の作成 情報機器・教材の活用法－演奏を録画し、情報機器に繋いで鑑賞する。	(2)-②
第27回	グループ課題 童謡の合奏編曲－全体を作る、様々なアレンジ方法を知る、楽譜を完成させる	(2)-②
第28回	グループ課題 童謡の合奏編曲－仕上げる リハーサルを行い、司会や入退場の流れを把握	(2)-②,(2)-④
第29回	グループ課題 童謡の合奏編曲－発表会 演奏と鑑賞、振り返り 編曲の楽しさ、アレンジの幅広さを知る 幼児教育における評価の考え方を理解する	(1)-③,(2)-②,(2)-④, (2)-⑤
第30回	手本となる正しい演奏、楽しく演奏させる指導と大切さ、楽器を通じた自己表現の可能性のまとめ	(2)-④,(2)-⑤
定期試験	実技試験	